

動物の実は

アゲハチョウの実はについて考えよう。

ボク達アゲハチョウは脚で味見しているよ!

昆虫にも味覚がありますが、舌がない虫はどうやって味を感じているのでしょうか。アゲハチョウなどは、触角が味覚器。一方、アゲハチョウやカミキリなどは脚の先端にある「ふ節」と呼ばれる部分で味を感じています。チョウの幼虫は特定の植物だけを食べて育ちます。たとえば、アゲハチョウの幼虫はミカンやオレンジの葉。メスは、前脚でたたきつけて葉の表面の味を感知し、ミカンの木を探し出して産卵するのです。この行動は「タッピング」と呼ばれています。

生物について、くわしく調べ、まとめることができておね! 線と点とで、見やすくする工夫も、ステキ!

動物のじつは

シロナガスクジラについてのじつはを考えよう。

1時間で4kg大きくなる赤ちゃんがいます。それはシロナガスクジラの私の子。

地球上で最大の動物、シロナガスクジラ。大きな個体では、その体重は約200tにも達します。そんなケタ外れた巨大な体を維持するため、主食のオキアミというプールのシクリンを1日約4tも食べています。赤ちゃんクジラは体長7m、約3tの体で生まれ、母乳を飲んで育ちます。その量もまたケタ外れ、1日600ℓ(牛乳パック600本分!)も飲むのです。結果、1日で約90kgも体重が増加。1時間あたりによれば約4kg。食う子は育つ...

すごい! がんばって勉強してね!